

平成23年度 入札監視委員会審議概要

中国四国防衛局

開催日及び場所	平成23年6月29日(水) 広島合同庁舎会議室
委員	中川 郁夫 (委員長/税理士) 神野 智文 (財団法人客員研究員) 森嶋 久雄 (不動産鑑定士) 藤井 堅 (大学院教授) 爲末 和政 (弁護士)

I 地方防衛局等が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	平成23年1月1日 ~ 平成23年3月31日		
審議対象件数	144件		
1. 入札状況について(参加資格の設定、指名及び落札決定の経緯等について)			
抽出件数	7件	(審議概要) 「抽出案件」 ・建設工事 ・建設コンサルタント業務等 「報告事項」 ・低入札事案について ・指名停止等の措置状況について	
建設工事	一般競争(政府調達協定対象)		3件
	一般競争(政府調達協定対象外)		3件
	公募型指名競争		0件
	指名競争		0件
	随意契約		0件
建設コンサルタント業務等	1件		
	意見・質問	回答	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	【抽出理由】 ・契約金額が最大のもの、1者応札のもの、落札率が高いものを抽出した。 【抽出案件】 ○建設工事 【一般競争入札】 《岩国飛行場(H22)整備格納庫新設建築その他工事》 ・結果的に10者が調査基準価格を下回ったということでのよいのか。 ・落札者と高額開札者とは、15億円もの差があるが、どのようなことが考えられるか。 ・大手の業者が多数参加しているようだが、それでも結構なばらつきが見受けられる。 ・設計・施工一括発注方式においては、各社からいろいろな提案があったのか。	・そのとおりである。 ・今回同じような構造の格納庫を2棟併せた発注であり、設計・施工一括発注方式であったことから、各社の技術力により差がついたものと推察している。 ・参加条件からすると全国で50社程度が受注可能な能力があったかと思われるが、その中から今回多数の者が入札に参加しており、競争が厳しかったものと思料。ただし、大手が参入したとはいえ、これだけの低入札という結果から鑑みると、今後は総合評価方式により品質確保を図ることも検討していきたい。 ・鉄骨構造の架構形式について、各社とも基本的な部分で大きな違いは見受けられなかった。	

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>【一般競争入札】 《岩国飛行場（H22）消音装置新設工事（その1）》及び 《岩国飛行場（H22）消音装置新設工事（その2）》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事内容は何か。 ・飛行場には必ずある施設なのか ・相当な技術が必要となる施設なのか。 ・今回2件とも同じ日の入札で1者応札となっているが、参加業者には1者であるということはあるのか。 ・落札率が高いのはなぜか。 ・見積りは複数社から採っているのか。 ・メンテナンス自体は、米軍において実施しているのか。今回受注した会社が請負うのか <p>【一般競争入札】 《岩国飛行場（H22）整備格納庫新設周波数変換装置工事》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事内容は何か ・静止型とあるが、他にどのようなものがあるのか。 ・特殊な技術を要するものなのか。 ・1者応札となったのはどのようなことが考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飛行機のエンジンテスト等により発生する音などを低減させる施設の新設である。 ・飛行機のエンジン能力を点検するような飛行場にはある。 ・飛行機のエンジン等の検査をする施設であることから、その性能やノウハウを熟知していないとできないもので、日本でも数社に限られる。 ・電子入札で実施しており、参加者は分からない。 ・設計・施工一括発注方式であり、最初に概略設計をもらい、それが可能と判断したものについて見積りを徴収し、査定することから、大きな差は生じにくく、結果として落札率が高くなる傾向にある。 ・発注を計画するための概算時には複数社から見積りを採っている。 ・メンテナンス自体は米軍が実施するものであり、当方ではそこまで確認していないので不明である。 <p>・一般的な周波数は50Hz及び60Hzであるが、航空機整備に必要な周波数に変換するための装置等を新設整備するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他には回転型があり、電子機器を使用して周波数を変調させるのが静止型、回転させながら周波数を変調させるのが回転型である。本工事は静止型を使用するため静止型と特記し、静止型を施工した実績を持つ者を参加条件とした。 ・周波数変換装置は一般的なものであり、参加条件として厳しいものではない。 ・何社か技術的に対応できる者がいるが、取扱数量が多いことから、1者しか来なかったものと推察される。

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・今回2回目の入札で落札となったが、それでも決まらない時にはどうするのか。</p> <p>【一般競争入札】 《岩国飛行場（H22）ボイラ室新設電気その他工事》</p> <p>・辞退者が出ているが業者からの提案から開札までの期間は結構空いているのか。</p> <p>・その間に辞退者が出たということか。</p> <p>・技術提案型は作業量的に業者の負担になっているのか。</p> <p>・ボイラ室本体は別の工事で発注しているのか。</p> <p>【一般競争入札】 《岩国飛行場（H22）電子整備場等新設通信工事》</p> <p>・電子整備場とは何か</p> <p>・有資格者数は多いのか</p> <p>・通信工事は具体的にはどんなことをするのか</p> <p>・電気工事と通信工事との違いはどのようなものか。</p> <p>○建設コンサルタント業務等 【一般競争入札】 《徳島（22）駐機場等測量等調査》</p> <p>・測量調査にしては高額なイメージを受ける。</p>	<p>・基本的には参加者の了解を得れば3回以降も続ける場合もあるが、入札執行官がそのまま続けても決まらぬと判断した場合には、入札を打ち切り再公告を行うこととなる。</p> <p>・開札までの期間は約2ヶ月である。</p> <p>・他工事を受注したりすると専任の技術者が配置できなくなること等の理由で辞退する場合がある。</p> <p>・入札システムでは3MBの容量までとしており、紙であれば数十枚単位での提出をしていただいているところである。</p> <p>・機械工事で発注している。</p> <p>・航空機の電子部品を整備する施設である。</p> <p>・通信で中国四国局を希望している業者数としては222社が該当する。しかし、通信工事単体としては業界工事等が多く、官庁発注工事は希であるため、参加する業者が少ないのが現状である。</p> <p>・分かりやすいもので言えば、TVアンテナ共聴設備や、パソコンのLAN配線など屋内配線を行ったりするものである。</p> <p>・簡単に言えば、電気工事は100V～200Vの強電を、通信工事はそれ以下の弱電のものを扱う。</p> <p>・今回の調査業務については、舗装の老朽度調査を主体としており、測量調査は老朽度調査のための基礎的データの収集の目的で行うもので、重要な内容は路面の状況を知ることである。今後の改修を行う際の指標を定める為に実施するのである。</p>

	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	・3者応札であるが、第1回開札の時点で2者辞退しており、結果的に1者応札と同じに見えるが、業者においては1者だけになったことは分かるのか。	・結果的に1者となっているが、電子入札にて実施しているため、業者の方では分からない。
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	【報告事項】 ○低入札事案について (27件) なし ○指名停止等の措置状況について (1件) なし	なし なし
○委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

2. 談合疑義案件の処理状況について				
談合疑義件数		0件	(審議概要)	
工 事	談合情報	0件		なし
	点検結果疑義	0件		
業 務	談合情報	0件		
	点検結果疑義	0件		
	意見・質問	回答		
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	なし	なし		
○委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし			

3. 入札結果の事後的・分析結果について		
審議概要	統計的分析資料を配付し説明	
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意見・質問	回答
		なし
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容	なし	

4. 再苦情処理（再説明請求回数）					
再苦情申立件数 (再説明請求件数)		総件数	0 件	(備考) なし	
建設 工事	一般競争（政府調達協定対象外）		0 件		
	公募型指名競争		0 件		
	指名競争		0 件		
	随意契約		0 件		
建設コンサルタント業務等			0 件		
再苦情申立概要 (再説明請求概要)		申立日	件名	契約方式	内容等
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意見・質問		回答		
	なし		なし		
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容		なし			

II 契約実施機関が締結する契約（地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。）に関する審議

契約実施機関：航空自衛隊

審議対象期間	平成21年 4月 1日 ～ 平成22年 3月31日 平成22年 4月 1日 ～ 平成23年 3月31日	
審議対象件数	2,622件 及び 2,392件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	5件	（審議概要） 地方調達（役務及び物品等） 1. 地方調達等発注実績について 2. 抽出事案について
一般競争	4件	
指名競争	0件	
随意契約	1件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【一般競争契約】 《食器洗浄作業等》 (21.4.1契約分) 航空教育隊 落札率：98.97% 応札者：1者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常1者応札なのか。 ・複数応札となって落札率の変動はあったか。 ・3か月契約であるが、業者が3か月で変わっても差し支えないか。 ・契約期間を3か月としている理由があるのか。 ・数量が61回外とはどういうことか。 <p>【一般競争契約】 《食器洗浄作業等》 (21.9.28契約分) 航空教育隊 落札率：99.73% 応札者：1者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この当時は1者しか来ていなかったが、22年度の4/四半期分から複数応札となっている。 ・かなり下がった。 ・内容が複雑なものではないため、業者、当方ともに差し支えない。 ・航空教育隊は、隊員の教育を主任務としている。学生は各四半期の初めに入校してくる。その際食器数が増えたり、食堂の使用面積が増えてくるため、仕様書の見直しが必要となり、3か月ごとの契約としている。 ・契約書にあるとおり、平日の朝食の回数が61回あるほか、昼食、夕食作業があるという意味である。土日は喫食人数が少なくなるため、休日は別区分としている。

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・今回は4月契約分比べ食器等の数量が減っている。</p> <p>・防府南基地は学生の受け入れだけをやっているのか、その他の通常の業務はないのか。</p> <p>【一般競争契約】 《臨床検査》 第3輸送航空隊 落札率：91.44% 応札者：1者</p> <p>・これは通常健康診断なのか。</p> <p>・健康保険は適用されないのか。</p> <p>・業者の事務所は基地近郊にあるのか。</p> <p>・業者の住所は東京都立川市であるが、検体を東京まで持ち帰っているのか。</p> <p>・この会社は株式会社だが、医療機関なのか。</p> <p>・地元の病院が競争に入ってきたことはないのか。</p> <p>・単価契約なので、実際に検査した数の分だけ支払うのか。</p> <p>・基地により、また、入札業者により値段が違うのか。</p> <p>・本件は21年度のものだが、22年度の契約状況はどうなのか。</p>	<p>・21年度に教育を受けるために入校していた学生数は1/四半期は約900人、10月の時期は約100人であった。人数がこのような開きがあるため契約金額がぐっと下がっている。</p> <p>・基地機能を維持するための後方業務はあるが、当基地は学生の教育を主任務としている。</p> <p>・定期健康診断のほか、任務で海外渡航する前の身体検査における成分検査も含まれる。</p> <p>・適用されない。全額国の負担である。</p> <p>・ない。検体を自衛隊で採取し、業者が持ち帰り、その後検査結果を報告してもらっている。</p> <p>・この会社は全国主要地域に検査施設を有しており、そこで検査を実施している。</p> <p>・血液等の成分検査を専門としている会社である。</p> <p>・地元の病院が競争に参加したことはない。</p> <p>・そうである。</p> <p>・図書等に掲載されている診療点数から予定価格を算定しており、極端に違ってくるものではないと考えている。</p> <p>・22年度については2者で競争入札となっている。落札業者は本件と同じ会社である。落札単価についてはほとんど変わらず、5品目が若干下がっている程度である。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>【一般競争契約】 《傭船》 第3輸送航空隊 落札率：99.33% 応札者：1者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回限りの輸送なのか。 ・特殊な事情があったのか。 ・もし傭船ができなければ海上自衛隊に頼むのか。 ・1艘で何回も運ぶのか。 ・熊本駐在所と契約しているが、船はどこにあったものなのか。 <p>【随意契約】 《公務員宿舎5号棟等床補修工事》 第3輸送航空隊 落札率：88.41%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4者から見積もり合わせしているのか。 ・見積もり業者の選定は発注サイドでやるのか。 ・実績がある業者を選定しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そうである。 ・任務のための車両等を輸送する必要が生じた。定期航路があるが人員輸送が主であるため、船舶を借りる契約を結んだものである。 ・契約ができなければ、航空自衛隊として海上自衛隊に依頼することも考えられる。現実的には運んでくれる業者が存在し、また海上自衛隊も通常の任務があり、依頼はしていない。 ・1回の航程で輸送できるよう契約している。 ・駐在所は熊本にあるが、本社は東京にある。全国規模の大きな業者であり、船についてはどこから持って来たかは承知していない。 ・250万円に満たない工事であるため、予決令99条に基づき随意契約とし、4者から見積もり合わせを実施している。 ・今回は随意契約なので、当方から連絡し見積もりを依頼している。 ・実績が必ずしも必要なわけではない。類似する工事の実績のほか、タウンページ、インターネット等を利用し、業者の拡大に努めている。
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>なし</p>	

2. 談合情報案件の処理状況について		
談合情報件数	0件	(審議概要) なし
談合情報	0件	
点検結果疑義	0件	
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意見・質問	回答
	なし	なし
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

3. 再苦情処理（再説明請求回答）				
再苦情申立件数 (再説明請求件数)	総件数	0件	(備考) なし	
一般競争		0件		
指名競争		0件		
随意契約		0件		
再苦情申立概要 (再説明請求概要)	申立日	件名	契約方式	内容等
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回答	
	なし		なし	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし		なし	